

任意団体 大阪ごみ減量推進会議

廃棄物減量等推進員を中心とする、協働によるごみ減量のリーダー養成

イベントの 延べ参加者数	255 人
イベント参加者 の満足度	89%
活動の全体目標 に対する達成度	80%



連続セミナーの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

大阪市のほか大阪府内の6自治体の廃棄物減量等推進員や、その運用を担う職員、市民団体、事業者などが学び合い、意見交換でき、多様な知識やさまざまな立場の考え方を知ることができた。

●工夫

セミナーでは講義の後、専門のファシリテーターの進行によるワークショップで講演の内容を深めた。

課 題

廃棄物減量等推進員制度は、全国の半分近くの自治体で導入されているが、活動がごみステーションの管理などに限定されているところが多く、推進員の主体的な活動が少ない。

目 標

大阪府内の市町村で活動する廃棄物減量等推進員を中心に、50人のごみ減量市民リーダーを養成する。また、ごみ減量市民リーダー養成関連団体の合同会議を開催して、連携の可能性を探る。

活動内容

2015年10月27日に「ごみとは何か」、11月11日に「地球環境とごみ」、11月30日に「経済活動とごみ」、12月15日に「ゼロ・ウェイスト社会の可能性」、2016年1月13日に「ファシリテーション入門」のテーマで、計5回のごみ減量市民リーダー養成連続セミナーを開催し、毎回約50人が参加した。また、2016年2月5日に、ごみ減量市民リーダー関連団体合同会議を開催し、15名が意見交換を行った。



連続セミナーの
チラシと報告書

達成できなかったこと

大阪府内すべての自治体から参加いただくことはできなかった。その原因としては、広報の時間が足りなかったこと、ごみ問題に対する自治体間の意識の違いなどがあげられる。

今後の展望

今回のセミナーは基礎編と位置づけたので、今後「応用編」「実践編」のセミナーを企画していきたい。